



No. 328

2017年9月1日

発行 日本労働組合総連合会山口県連合会
〒753-0078 山口市緑町3-29 労福協会館3F
TEL 083-932-1123 FAX 083-932-1131
Eメール: rengo-yamaguchi@rengo-y.com

発行人 山 近 和 浩
編集人 鶴 岡 純 枝

広報 連合山口

<http://rengo-y.com>

平成7年5月22日第3種郵便物承認 毎月1日発行 購読料1部15円(組合費に含む)

山口県労使雇用対策協議会

2017労使トップセミナー やまぐち元気創出フォーラムを開催 ～ 働き方改革はできるのか ～



▲パネルディスカッションの様子



▲株ニッチモ代表取締役
海老原嗣生氏

山口県労使雇用対策協議会は、7月25日、山口市で総勢121名の参加のもと「2017労使トップセミナーやまぐち元気創出フォーラム」を開催し、労対協の会員である連合山口からは33名が参加した。

主催者を代表し、協議会副会長の中繁会長は、本格的な人口減少期を迎えるにあたり「地域における産業や経済を活性化させるためには人材確保や人材育成、さらには、若者の定住促進が喫緊の課題」としたうえで、地方創生の観点から「地域の魅力をどう高めていくかが、大きなキーワード」と述べた。また、実効ある働き方改革を推進する立場から「労使が現状における課題や取り組むべき意義を共有し合

い、職場実態に即した取り組みを積み重ねていくことが重要」と挨拶した。

セミナーでは、企画マネージャーを務める山近事務局長が「新規高卒者の離職率には、各企業の人事施策や就職をめぐる慣行制度が大きく影響している。これらの課題を全てのステークホルダー(利害関係者)が共有化し、具体的な解決策を講じることを期待する」等を内容とした「若年者の早期離職対策に関する提言」を報告した。

また、(株)ニッチモ代表取締役

の海老原嗣生氏より「働き方は改革できるのか～残業は常識では減らせない～」と題し基調講演を受けた後、海老原氏をコーディネーターに、経営者や労働者代表によるパネルディスカッションが行われた。海老原氏は、働き方改革と人手不足は表裏の関係にあるとし「働き手が少なければ労働負荷が増え、働き方が悪いと人が集まらないので労働負荷が増えるという悪循環を断ち切るには、働き方を変えて人材を確保することが必要」との観点から、働き方改革が人手不足の解消に繋がった事例を紹介してほしいと趣旨説明した。その後、4人のパネラーの内、東洋鋼鈑労組の川本大悟組合長からは、社内保育所の設置など女性が働きやすい職場づくりについて、また、全イズミ労組の長谷川絵美中央執行委員からは、非正規社員の確保における課題等の事例が紹介された。

<山口県労使雇用対策協議会とは> 山口県労使雇用対策協議会は、県内の主要経済団体(経営者協会、経済同友会、商工会議所連合会、商工会連合会、中小企業団体中央会)と連合山口で組織する団体で、労使が協力して雇用維持・確保のための活動を行い雇用の安定を図ることを目的に2009年7月に設立された。

もくじ

p1 2017労使トップセミナー

p2 2017平和行動・第23
回リーダー研修会

p3 ゆた苑カンパ・全労済ミュージ
カル案内・ゆるキャラグランプリ

p4 東部地協だより・労働相談
事例・第24回大会公示

平和行動

連 合 2 0 1 7 平 和 行 動 in 広 島 ・ 長 崎

語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で、 核兵器廃絶と恒久平和の実現を

連合の平和4行動の2つ目として、8月5日(土)、広島市の上野学園ホールにて、被爆72年「連合2017平和ヒロシマ集会」が開催され、全国から2,315名が結集し、連合山口からも33名が参加した。

冒頭、連合本部の逢見事務局長は、今年7月、史上初めて核兵器禁止条約が国連で採択されたことに触れ「政府には、条約の批准と速やかな発効に向けた各国への働きかけを強く要請する」ことや「核兵器の全廃を目指す2020ビジョンを推進するため、国内外の世論喚起に注力していく」と述べ「核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けて気持ちを一つに、ともに頑張ろう」と訴えた。

集会では、語り部による被爆体験証言や高校生平和大使からの活動報告等を受けた後、連合広島代表から、次の平和行動の開催地となる連合長崎の代表者にピースフラッグが引き継がれた。

また、集会終了後には、原爆ドーム前にて連合独自の「原爆死没者慰霊式」を開催し、参加者全員で死没された方々に祈りを捧げた。

なお、8月9日には、長崎市の県立総合体育館で「連合2017平和ナガサキ集会」が開催され、連合山口から5名が参加した。



連合山口青年委員会

次代を担う青年リーダー集う

～ 第23回 リーダー研修会開催 ～



グループディスカッション

連合山口青年委員会は7月29日(土)～30日(日)山口市で、44名の参加により第23回リーダー研修会を開催した。この研修会は、連合山口の教育体系に基づき、構成組織・単組の教育を補完するためのメニューとして2年に1回実施しているもので、リーダーに必要な知識や見識を習得することや、産業・地域を超えた交流とネットワークづくりを目的としている。

1日目は、数字に関するクイズやイラスト班員探し、共通点



グランドスラムなどのアイスブレイクで緊張をときほぐした後、河村裕幸青年委員長が「青年委員会の活動と役割」について講演し「同じするなら楽しく活動しよう」と呼びかけた。

続いて、鶴岡純枝連合山口副事務局長が連合結成の経緯や役割、組織概要含め具体的な活動について講演し、午前中を終了。午後からは、「働き方改革」をテーマに、山近和浩連合山口事務局長から基調講演を受けた後、



発表の様子

労働者を取り巻く現状と課題、解決策等についてグループディスカッションを行ない、最後にグループ毎に発表した。

2日目は、平和をテーマに、語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で、核兵器廃絶と恒久平和を実現する観点から「ゆだ苑」より派遣いただいた語り部の林三代子さんの被爆体験を聞いた。

私たちが安心して暮らし職場で働くためには、「社会が平和で安定している」ことが大前提であることを忘れてはならない。

原爆被爆者支援カンパ

~ご協力ありがとうございました~

「ゆだ苑」に
2,460,219円を贈呈



▲中繁会長(右)から岩本理事長(左)へ贈呈

連合山口の中繁尊範会長は8月24日、山口市元町にある(一財)県原爆被爆者支援センター「ゆだ苑」を訪れ、原爆被爆者支援カンパ金2,460,219円の目録を岩本晋理事長に贈呈した。

この取り組みは、2010年から連合山口の運動方針に基づき、各地域協議会を中心に6月～8月にかけて、単組組合員によるカンパ活動や地域協議会主催のチャリティー行事によるカンパ活動に取り組んでいるもの。また、同日は、目録とともに組合員が平和を祈念して作成した「折り鶴」も奉納した。

ミュージカル無料招待のご案内

山口県共済生活協同組合主催の文化フェスティバルが、県内5会場にて開催されます。チケットは無料!この機会に「ミュージカル」を堪能してみませんか?詳しくは、60周年記念ミュージカル係(TEL:083-927-5001)まで、お問い合わせください。

山口県共済生活協同組合60周年記念
全県済文化フェスティバル
ミュージカル

あいのよるに

©きむらゆういち・作 あべ弘士・絵 講談社「あしのよるに」シリーズより
作/きむらゆういち 絵/あべ弘士 脚本/西川 徹 演出/佐堂 哲也

オオカミとヤギの
不思議な友情物語

ともだちなのにごちそう!?

劇団 狼

11/3(金) 開場/13:30 開演/14:00 終演/16:00 ①周南市文化会館 定員1600名 周南市豊山5-4-1 TEL 083-422-8787	11/5(日) 開場/13:30 開演/14:00 終演/16:00 ③宇部市渡辺翁記念会館 定員1300名 宇部市堀田5-1 TEL 0836-51-7375	11/26(日) 開場/13:30 開演/14:00 終演/16:00 ⑤シンフォニア岩国 定員1200名 岩国市三笠町1丁目1-1 TEL 0827-29-1600
11/4(土) 開場/13:30 開演/14:00 終演/16:00 ②ルネッサなご 定員700名 長門市仙崎15-1 TEL 0837-26-6001	11/25(土) 開場/13:30 開演/14:00 終演/16:00 ④アブニール菊川 定員700名 下関市菊川(旧大字)下関校117 TEL 083-267-0302	無料招待 お申し込みは必ず事前に定員枠です。 (応募多数の場合は抽選による選考があります。) 【当選ハガキの座席券(指定)引き換え 12:30~14:00】

応援してユニ!

ゆるキャラグランプリ 2017

連合

1日1回 初立候補!

スマホ・携帯・パソコンから
毎日投票
お願いします!

投票はこちらから

投票期間 **8/10(火) 10:00 ~ 11/10(金) 18:00**

ゆるキャラグランプリ ユニオニオン 検索

初回のみID登録が必要です

地協便り

東部地域協議会から

柳井・岩国地区会議青年委員会が行事を開催



▲岩国地区会議

東部地協柳井地区会議青年委員会では、去る5月27日（土）17時過ぎから、47名参加のもと、近隣で働く仲間の地域交流を目的に柳井サンワボウルに於いてボウリング大会を実施した。大会は、男女混合による団体戦形式で行われた。各レーンでは、ストライク、スペアを取る度にハイタッチする光景も見られ、大きな笑い声に包まれていた。しか

▼柳井地区会議



し翌日には、会場であった柳井サンワボウルが閉店となり、柳井地区からボウリング場が消えてしまうこともあり、あちらこちらから閉店を惜しむ声が聞かれた。ボウリング大会終了後、場所を変え、周防大島の島本陣茶屋に移動し、ビールを片手に更なる懇親を深めた。一方、岩国地区会議青年委員会では、7月1日（土）に周東町用田の丸太村に於いて「バーベキュー婚活パーティー」を行なった。今パーティーには、加盟組織を中心に男女あわせて40名が参加した。東部地協に加盟する組織の方から「製造業などが多い為、

どうしても男性組合員の比率も高くなり、なかなか女性との出会いの場がない」といった声が、多数寄せられていた。そうした声を受けて、今回の開催となった。

パーティーが始まると、バーベキューを楽しみながら、参加者同士での会話も弾み、フリータイムではグループで話しをする者もいれば、二人っきりでいい雰囲気包まれる参加者もあり、大変盛り上がった。最後の告白タイムでは、男性が勇気を振り絞って告白を行ない、その結果、6組のカップルが誕生した。また、岩国地区会議青年委員会では今回の婚活パーティー実施にあたり、山口県の「やまぐち結婚応援団」への登録を行なった。

— 編集人：田中事務局長 —

労働相談事案コーナー

【相談内容】

相談者：女性（30代）正社員

事務員をしている勤務先の本社宛に、自分が夜に飲食店でアルバイトしていることや同僚と不倫をしていることなどが書かれた手紙が届いたと言う事で聞き取りがあった。確かにアルバイトをしているのは事実なので禁止ならすぐに辞めると伝えたが、不倫は全く事実無根であることを訴えた。しかし、所長から「こういう噂が出た以上、職場の雰囲気も悪くなったので退職してもらう」と言って解雇を伝えられた。

自分なりに仕事はきちんとやっており、やりがいも感じているので会社を辞めたく無いが会社の命令に従わなければならないのか？

回答

アルバイトが禁止かどうかは就業規則を確認して見ることが必要だが、アルバイトはすぐに辞めると申し出ていることに加え、事実無根の噂を理由に解雇を通知されたことは、労働契約法第16条の『解雇は、客観的に合理的な理由を欠き、社会通念上相当であると認められない場合は、その権利を濫用したものとして無効とする』に該当すると考えられる。また、本人も退職の意思が無いならば解雇通知を拒否する旨を申し出ること。

それでも退職強要が続くようなら行政の紛争解決制度の利用を勧めるので再度当方へ連絡するよう助言した。

連合山口カレンダー【9月】

- 4日 県央地域協議会との意見交換会
- 9日 政策・制度討論集会
- 26日 第8回三役会議

公 示

連合山口第24回定期大会

開催日時 2017年10月28日（土）

10時00分～16時00分

開催場所 ホテルかめ福

（山口市湯田温泉4-5-2）

議事内容

<報告事項>

- ・2017年度活動報告
- ・2017年度諸会計決算報告、同監査報告

<審議事項>

- ・第1号議案 2018-2019年度運動方針(案)について
- ・第2号議案 2018年度諸会計予算(案)について
- ・第3号議案 役員の選出について
- ・第4号議案 表彰について
- ・第5号議案 顧問の委嘱について

地協連絡先

● 県央地域協議会

〒745-0071 周南市岐山通2-10 周南市役所仮庁舎別館内
TEL：0834（21）0768 FAX：0834（21）0290

● 東部地域協議会

〒740-0013 岩国市桂町2-6-1 こども館内
TEL：0827（22）0160 FAX：0827（22）0161

● 西部地域協議会

〒750-0001 下関市幸町8-16 下関市勤労福祉会館内
TEL：083（222）0869 FAX：083（223）9428

● 中部地域協議会

〒753-0078 山口市緑町3-29 労福協会館3階
TEL：083（902）1811 FAX：083（932）1131